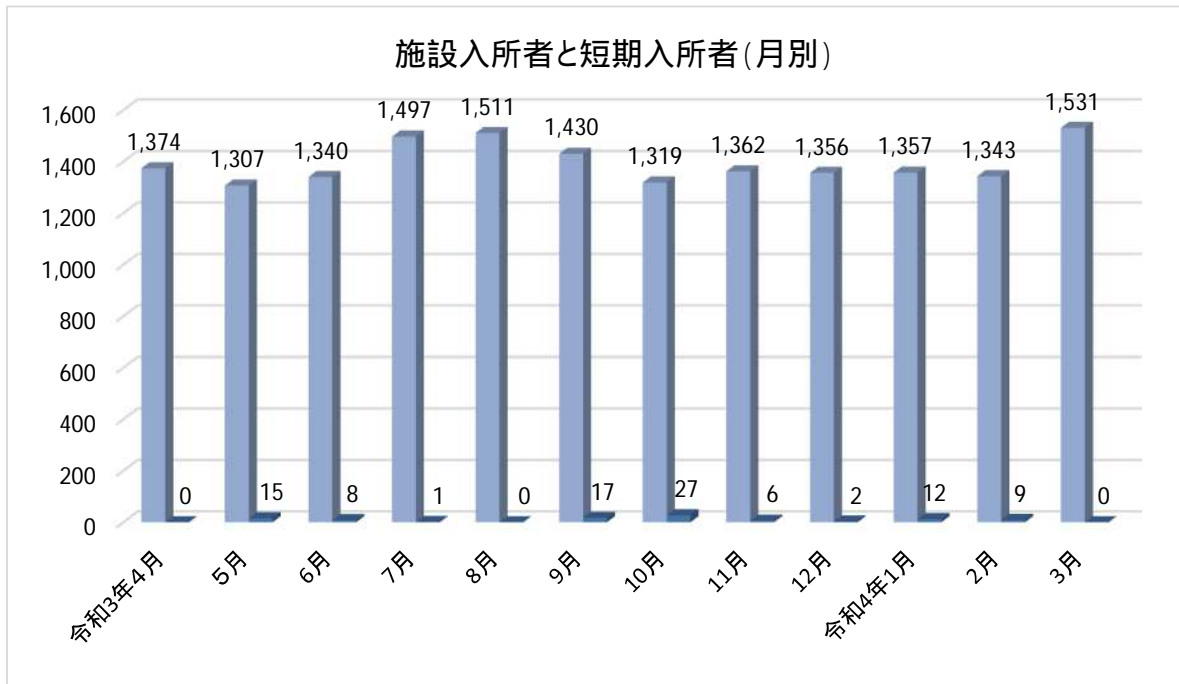


令和4年度 事業報告書

老人保健施設たき
(通所リハビリテーション含む)

令和4年度 老人保健施設たき 「入所・短期利用者月別利用状況」
 (定員50名。短期は空所利用型)



年月	月延日数	施設入所	短期入所	合計	利用率	内、無料低額入所者数			割合 (短期は除く)
						生保	減免	計	
令和3年4月	1,500	1,374	0	1,374	91.6%	0	150	150	10.9%
5月	1,550	1,307	15	1,322	85.3%	2	155	157	12.0%
6月	1,500	1,340	8	1,348	89.9%	32	150	182	13.6%
7月	1,550	1,497	1	1,498	96.6%	62	155	217	14.5%
8月	1,550	1,511	0	1,511	97.5%	62	124	186	12.3%
9月	1,500	1,430	17	1,447	96.5%	60	120	180	12.6%
10月	1,550	1,319	27	1,346	86.8%	62	124	186	14.1%
11月	1,500	1,362	6	1,368	91.2%	54	120	174	12.8%
12月	1,550	1,356	2	1,358	87.6%	31	124	155	11.4%
令和4年1月	1,550	1,357	12	1,369	88.3%	31	124	155	11.4%
2月	1,400	1,343	9	1,352	96.6%	28	28	56	4.2%
3月	1,550	1,531	0	1,531	98.8%	31	31	62	4.0%
合計	18,250	16,727	97	16,824	92.19%	455	1,405	1,860	11.12%

平成27年度	18,300	16,453	71	16,524	90.30%
平成28年度	18,250	16,366	17	16,383	89.77%
平成29年度	18,250	16,332	88	16,420	89.97%
平成30年度	18,250	16,703	78	16,781	91.95%
令和元年度	18,300	15,467	95	15,562	85.04%
令和2年度	18,250	15,505	156	15,661	85.81%
令和3年度	18,250	16,285	108	16,393	89.82%

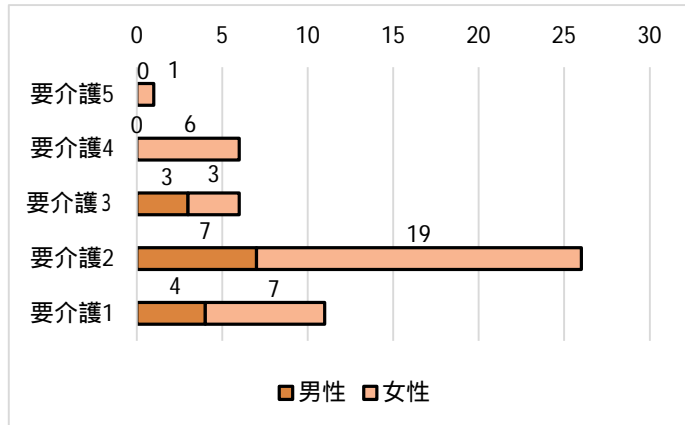
当施設は無料低額介護老人保健施設利用事業を実施しております。社会福祉法第2条第3項第10号の規定に基づき、生計困難者が経済的な理由によって必要な介護を受ける機会を制限されないことのないよう、低額な料金で利用できる事業です。

【施設(短期含まず)サービス】

入所者状況(令和5年3月31日現在)

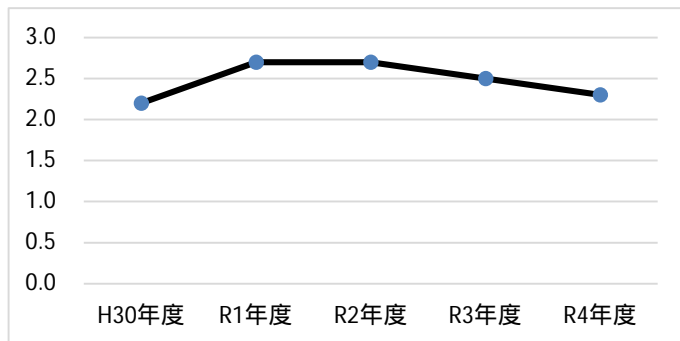
要介護度別利用者数 (3月)

要介護度	男性	女性	合計
要介護5	0	1	1
要介護4	0	6	6
要介護3	3	3	6
要介護2	7	19	26
要介護1	4	7	11
合計	14	36	50



平均介護度(年度平均)

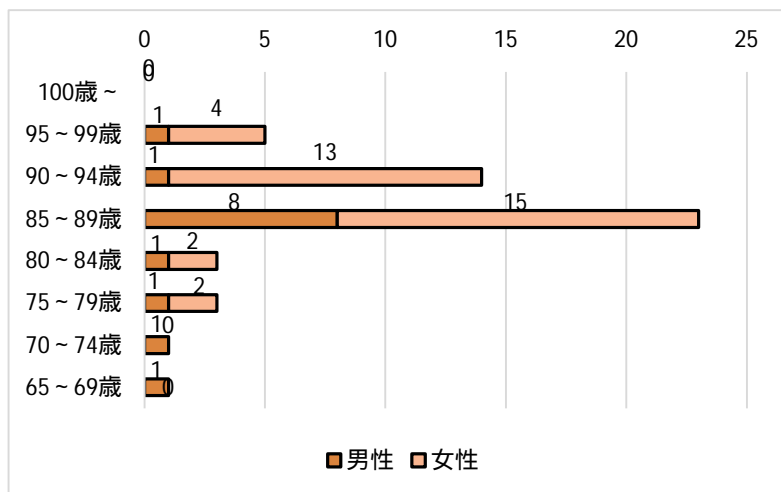
年度	平均
H30年度	2.2
R1年度	2.7
R2年度	2.7
R3年度	2.5
R4年度	2.3



(少数点以下第2位を四捨五入)

年齢構成 (3月31日現在)

年齢	男性	女性
100歳～	0	0
95～99歳	1	4
90～94歳	1	13
85～89歳	8	15
80～84歳	1	2
75～79歳	1	2
70～74歳	1	0
65～69歳	1	0
合計	14	36



平均年齢

年間平均年齢	性別	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	男	86.1	82.1	84.9	84.0	87.4	84.0	84.0
	女	89.9	90.9	90.0	90.1	90.7	91.0	90.6
平均	89.2	88.7	88.5	88.5	90.1	89.4	88.7	

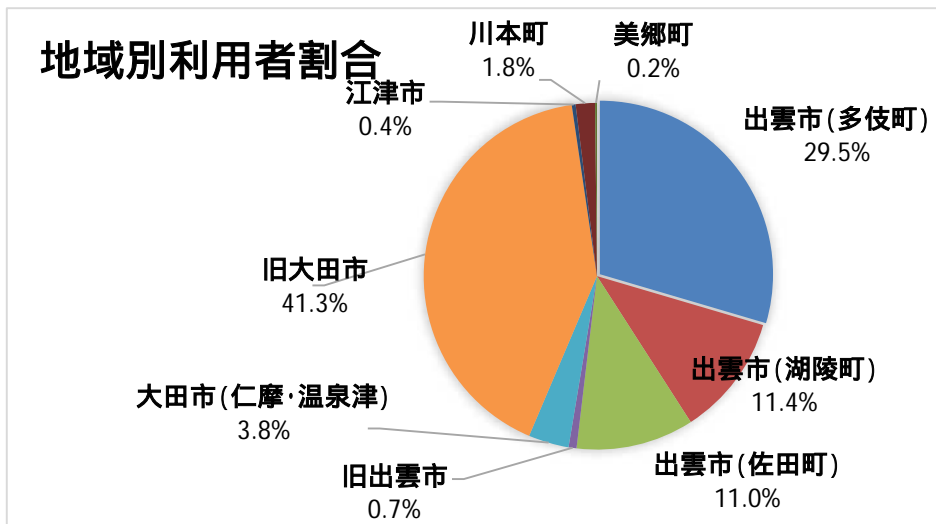
【施設サービス】

令和4年度

地域別利用者数

(末日在所者)

保険者名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	割合	R3年度	R2年度
出雲市(多伎町)	13	12	15	14	13	14	14	14	12	14	14	15	164	29.5%	20.7%	24.4%
出雲市(湖陵町)	6	6	6	6	6	4	4	6	5	4	5	5	63	11.4%	14.7%	11.0%
出雲市(佐田町)	6	7	6	8	7	6	4	2	2	3	5	5	61	11.0%	12.2%	14.9%
旧出雲市	1	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	4	0.7%	3.0%	3.1%
大田市(仁摩・温泉津)	2	2	2	2	1	1	1	2	2	2	2	2	21	3.8%	6.0%	7.3%
旧大田市	15	15	18	18	20	17	17	22	21	22	22	22	229	41.3%	43.3%	39.3%
江津市	1	1	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.4%	0.0%	0.0%
川本町	-	-	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	1.8%	0.0%	0.0%
美郷町	-	-	-	-	-	-	-	1	0	0	0	0	1	0.2%	0.0%	0.0%
合計	44	43	48	49	49	44	42	48	43	46	49	50	555	100%	100%	100%



利用者負担限度額認定者数(3月現在)

(負担限度額認定による補足給付対象者)

利用者負担	人数	割合	R3年度 人数	
第1段階	1	2.0%	0	0.0%
第2段階	5	9.8%	11	20.4%
第3段階	10	19.6%	8	14.8%
第3段階	10	19.6%	12	22.2%
非該当(第4段階)	25	49.0%	23	42.6%
合計	51	100%	54	100%
補足給付割合	51.0%		57.4%	

入所期間(3月31日現在)

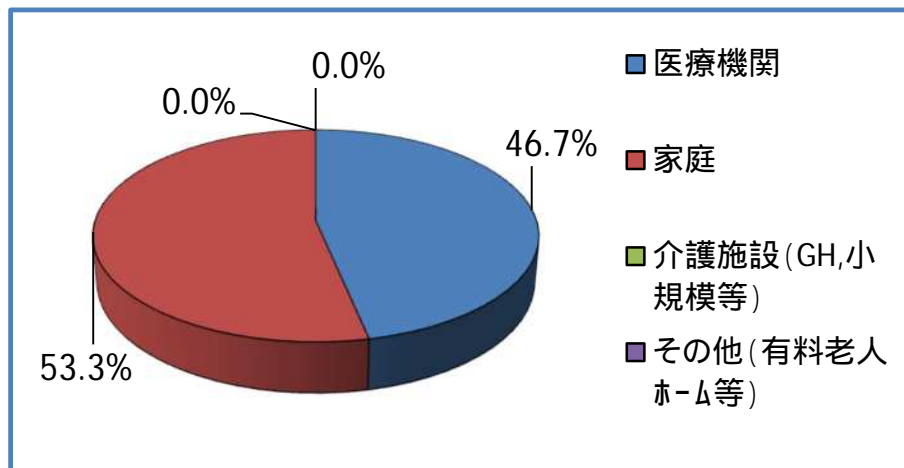
期間	人数	R3年 度	R2年 度	R1年 度
6カ月未満	23	27	18	19
6カ月以上1年未満	6	11	7	11
1年以上3年未満	19	10	11	10
3年以上5年未満	1	0	4	3
5年以上	1	1	0	0
合計	50	49	40	43

【施設サービス】

令和4年度 入退所状況

入所状況

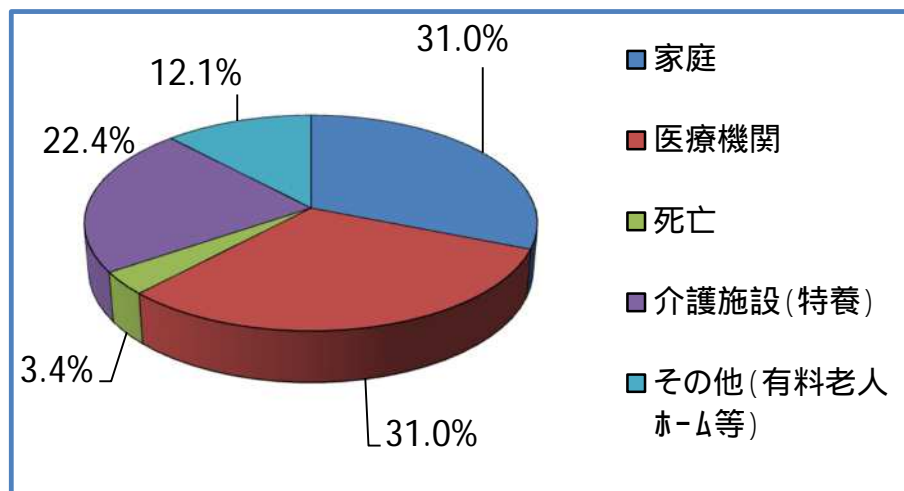
入所区分	人数	割合(%)	R3年度
医療機関	28	46.7%	14人
家庭	32	53.3%	55人
介護施設(GH,小規模等)	0	0.0%	1人
その他(有料老人ホーム等)	0	0.0%	6人
合計	60	100%	76人



退所状況

退所先	人数	割合(%)	R3年度
家庭	18	31.0%	38人
医療機関	18	31.0%	12人
死亡	2	3.4%	4人
介護施設(特養)	13	22.4%	9人
その他(有料老人ホーム等)	7	12.1%	2人
合計	58	100%	65人

終末期ケア(ターミナルケア)として2名の方の看取りを行った



【通所リハビリテーション(介護予防含む)】

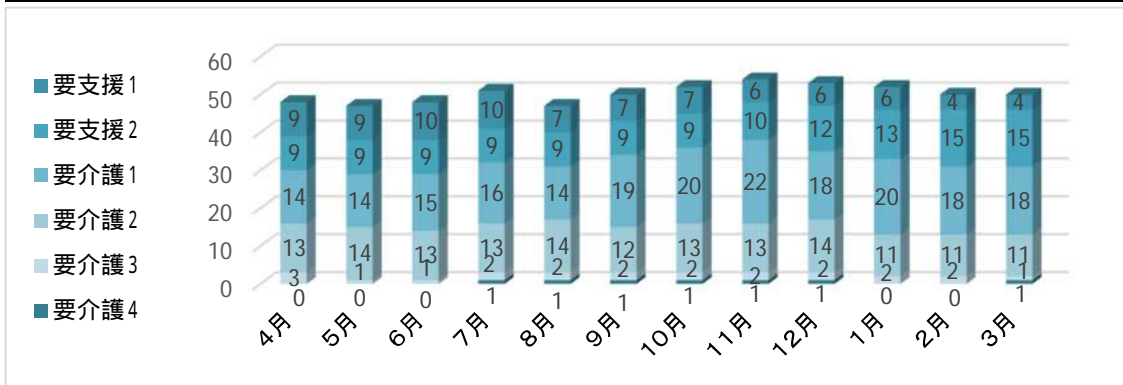
平成29年11月から定員を20名から25名へ変更

要介護度別利用者数(実数)【令和4年度】

平均 50.4人(R3年度46.6人)

【単位:人】

要介護度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R3年度	R2年度	R1年度	H30年度
要支援1	9	9	10	10	7	7	7	6	6	6	4	4	85	89	129	97	59
要支援2	9	9	9	9	9	9	9	10	12	13	15	15	128	98	105	115	110
要介護1	14	14	15	16	14	19	20	22	18	20	18	18	208	147	153	167	194
要介護2	13	14	13	13	14	12	13	13	14	11	11	11	152	188	161	154	184
要介護3	3	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	1	22	26	37	43	36
要介護4	0	0	0	1	1	1	1	1	1	0	0	1	7	5	0	0	11
要介護5	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	7	0	1	0
総合計(人)	49	48	49	51	47	50	52	54	53	52	50	50	605	560	585	577	594

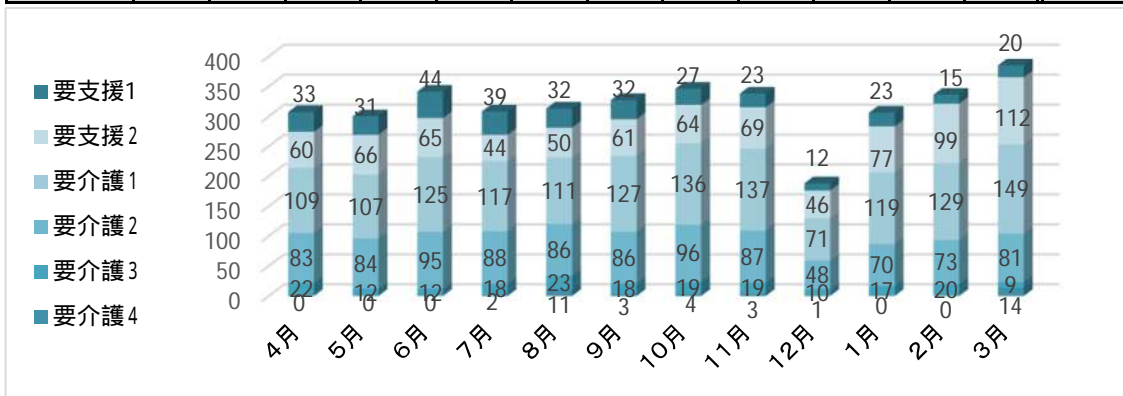


要介護度別延べ利用者数

営業日 234日 1日平均 16.3名

(R3年度平均 16.1名)

要介護度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R2年度	R2年度	R1年度	H30年度
要支援1	33	31	44	39	32	32	27	23	12	23	15	20	331				
要支援2	60	66	65	44	50	61	64	69	46	77	99	112	813				
要介護1	109	107	125	117	111	127	136	137	71	119	129	149	1437				
要介護2	83	84	95	88	86	86	96	87	48	70	73	81	977	営業日	営業日	営業日	営業日
要介護3	22	12	12	18	23	18	19	19	10	17	20	9	199				
要介護4	0	0	0	2	11	3	4	3	1	0	0	14	38	242	244	240	244
要介護5	8	8	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25				
総合計(人)	315	308	350	308	313	327	346	338	188	306	336	385	3,820	3,896	4,100	4,205	4,334



新型コロナウイルスが入所で発生したため
12月に10日間営業中止

平均介護度

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
H30年度	1.3	1.3	1.3	1.4	1.4	1.4	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3
R1年度	1.2	1.2	1.2	1.1	1.2	1.2	1.3	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2
R2年度	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.2	1.1	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2
R3年度	1.2	1.2	1.2	1.3	1.3	1.4	1.4	1.4	1.4	1.3	1.3	1.3	1.3
R4年度	1.2	1.2	1.1	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.1	1.1	1.1	1.2

(少数点以下第2位を四捨五入。要支援者は0.375で計算)

平均年齢

年間平均年齢	性別	4年度
平均	男	83.3
	女	87.7
	平均	85.7

重点施策(目標)

重点施策(目標)
(1)引き続き新型コロナウイルス感染症等への予防対策を強化し、発生時への対応を準備する。また、業務継続計画の見直しを随時行う。 (2)利用者の体力や基本動作能力、生活機能向上を目的に集中的な維持期リハビリテーションを提供し、早期の在宅復帰に努める。 (3)老人保健施設の強みである、多職種(医師、看護職員、介護職員、作業療法士、理学療法士、栄養士、支援相談員、事務職等)からなる「チームケア」を行い、利用者の意思を尊重し在宅生活や施設生活が過ごせるよう支援する。 (4)地域包括ケアシステム(要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい生活を最期まで送れるように地域内で助け合う体制)の拠点となるために、医療機関、居宅介護支援事業所、介護サービス事業所等との連携強化を図り、在宅支援・在宅復帰のための施設を目指す。
達成状況
(1)新型コロナ感染症発生時における事業継続計画を修正し、発生時への対応を準備した。 そうした中、12月に入所者延べ34名(職員10名)がコロナ感染し、保健所・県に協力を仰ぎながら約1ヶ月にわたり施設内療養を実施し、施設内で入所者介護の継続を行った。 (2)新型コロナ感染予防のために担当者会議や入所・退所前訪問等が難しい中、感染状況に応じ予防を講じた上で訪問を行ったり、こまめな情報共有・連携に努めた。 (3)新型コロナ感染予防のため活動が制限される時期もあったが、予防に努めながら個別リハビリテーションを行い、機能維持・回復に努めた。 (4)利用者の在宅復帰には居宅の事業所との連携が欠かせず、出雲市・大田市のみならず江津市・美郷町・川本町等にある病院・事業所へ老健の案内に出掛けたり、コロナ禍でご本人・ご家族に不安がある中、事業所等と連携し安心して利用してもらうよう努めた。

利用者ご家族との懇親・意見交換会

・毎年12月に開催している「家族会・忘年会」を今年度もコロナ予防のため開催を中止した。 ・コロナの感染状況が悪化したR3年12月末から直接面会を制限したため、R4年度は基本的に看取りの方以外はオンライン面会対応とした。 ・その改善として、ご家族に入所者の施設生活の様子を伝える文書や掲示板を作成し、情報提供やコミュニケーションに努めた。
--

情報公表等

・利用者や家族を対象とした、利用に関するアンケート調査を年1回実施した。総合満足度で9割の方から満足、残りの方から普通の回答を頂いた。今後も家族との連携を図っていきたい。 ・「介護サービス情報公表システム(厚生労働省HP・島根県HP)」による、介護サービス情報の公表を行った。 ・多伎の郷機関誌「しおかぜ」(年2回、多伎町全戸配布及び関係機関配布)において、日々の様子の紹介・報告を行った。 ・事業計画書・予算書や事業報告書・決算書を多伎の郷ホームページで公開した。
--

苦情解決、要望・相談等

苦情解決実施要領に基づく苦情・・・なし

実地指導関係

・所轄庁(島根県)における実地指導は無かった。(通所リハビリテーションを対象とした実施指導(5年に1回)は令和3年12月21日にあった。入所対象の実地指導(3年に1回)は平成29年11月にあった。) ・令和4年度介護サービス事業集団指導(3月)は新型コロナウイルス感染症防止のため中止。
--

防災訓練(年2回実施)、非常災害時等の対策

(1)大規模災害発生時への対応のために「事業継続計画(BCP)」(R2年に策定)を初動基準・対応等修正する。また、新型コロナ感染症発生時における事業継続計画も修正した。 (2)自衛消防訓練実施:年2回(昼・夜間想定)実施。避難訓練後に消火器の使用訓練。 (3)防災会議(年2回)の開催。防火担当区域巡回を行った。 (4)近年の災害の大規模化に伴い、「水害・土砂災害についての研修会及び対応・避難訓練」を毎年10月に潮風苑やこども園と合同で実施しているが、今年度もコロナ予防のため中止となった。 (5)防犯面の対策として、建物の周りに防犯カメラ3台を平成29年3月に設置し、防犯に努める。

老人保健施設たき（施設外研修・学会・講演発表・表彰等 一覧表）

令和4年度

新型コロナウイルス感染症拡大防止のために集合形式での研修会はあまり開催されなかった。

【学会・講演】

月日	研修会名等	場所	参加者
10月15日	第11回「いのちの輝きを考える日」研修会	出雲市役所くにびき大ホール	施設長、看護長、相談員、作業療法士、事務長
12月16日	令和4年度介護老人保健施設 島根県大会	オンライン	施設長
7月28日	令和4年度島根県老人保健施設協会 感染症研修会	オンライン研修	施設長、看護長、相談員、事務長
11月25日	中国地区介護老人保健施設大会 in山口	オンライン講演	施設長
6月13日	多伎地区人権同和教育研修会	多伎コミセン	事務長

【施設外研修】

4月	他科受診研修	オンライン研修	看護長、相談員、作業療法士
8月	全国老健協 基礎職員研修	オンライン研修	森山、森山、帯刀、矢野、知野見
9月	全国老健協 中堅職員研修	オンライン研修	原、安井
9月	厚生労働省 口腔ケア研修	オンライン研修	入所全職員
8月19日	県老健協 LIFE研修	オンライン研修	看護長、相談員、作業療法士、事務長
9月30日	ケアフォーラム 介護に役立つスキンケア	オンライン研修	安井、川上、柘植、森山、石飛
10月14日	福祉サービス苦情解決研修会	くにびきメッセ オンライン研修	大國主任 三原看護長、岡田相談員
11月1日	リハビリテーション研修	オンライン研修	平岡リハビリ主任
12月6日	福祉施設における新型コロナウイルス感染症対応研修	オンライン研修	看護職員
12月8日	「リスクマネジメント研修」	オンライン研修	介護主任
中止	令和4年度 介護保険施設サービス集団指導		新型コロナ感染防止のため
中止	令和4年度 介護保険在宅サービス(事業所)集団指導		新型コロナ感染防止のため

【講演】

10月20日	多伎中学校3年生を対象とした「介護の基礎的講座」講師 (福祉とは、介護の職業の話、高齢者疑似体験)	多伎中学校	相談員、介護主任、事務長
--------	--	-------	--------------

【会議】

4月	老人保健施設中国地区代表者会議	書面評決	施設長
4月	老人保健施設中四国ブロック代表者会議	書面評決	施設長
2月9日	令和4年度介護予防評価支援委員会研修会	オンライン	施設長
年4回	令和4年度島根県老健協会企画検討委員会	ニューウエルシティ出雲	事務長
3月20日	令和4年度島根県介護老人保健施設協会総会	朱鷺会館	施設長、事務長

令和4年度 事業報告(医療・健康に関するケア)

医療・健康に関するケア

項目	実施状況	次年度予定・課題						
健康チェック	入所時:身長・体重測定・バイタル測定・血液検査 バイタル測定:定期的に実施。状態不安定な利用者に対しては状態に応じ適宜実施 体重測定:月1回、状態により適時実施 回診:週1回医師による回診の実施・服薬調整 血液検査:療養食提供者・栄養サポート中の利用者の定期的な血液検査の実施 体調不良者への対応:状態変化・緊急時にはその都度医師による診察治療の提供 毎日の検温実施	褥瘡モニタリングを追加						
施設内処置	創傷処置:適宜実施。褥瘡等継続した処置者はない 吸入:対象者なし 吸引:適時実施 血糖検査:対象者3名 スキンケア:適時実施【褥瘡モニタリングを導入しハイリスク者に対してケア実施】 フットケア:適時実施 点滴等:補液目的または急性循環不全時適時実施。(肺炎・尿路感染症・ヘルペス)に対する処置の実施 酸素吸入:適時実施 ターミナルケア:ターミナルケアマニュアルに添ったケアの提供 排泄支援への取り組み実施(バルーンカテーテル管理 対象者3人)	排泄支援への取り組みの整備ガイドラインに沿った支援マニュアル作成						
受他診科	大野歯科:コロナ感染予防のため往診一時停止していたが令和5年度から再開	継続						
緊急時対応	急変時対応マニュアルに添った対応を実施。協力病院(島根県立中央病院・島根大学医学部付属病院・出雲市民病院・大田市立病院) 夜間看護体制の実施:24時間連絡体制の実施	継続						
健康診断	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>実施内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者</td> <td>血液検査</td> </tr> <tr> <td>職員</td> <td>8月…一般健康診断 2月…一般健康診断【久村診療所】</td> </tr> </tbody> </table>	対象	実施内容	利用者	血液検査	職員	8月…一般健康診断 2月…一般健康診断【久村診療所】	継続
対象	実施内容							
利用者	血液検査							
職員	8月…一般健康診断 2月…一般健康診断【久村診療所】							
感染症予防	感染対策委員会の設置:感染対策指針に基づき基本となる感染対策マニュアル作成 定期的な感染対策委員会の開催:疾病及び感染症についての講義・うがい・手洗い・換気については職員への周知徹底を図る。張り紙などによる告知 季節に応じて感染対策の実施:食中毒への呼びかけ、家族へ差し入れの制限と管理、ノロウイルス等に対するマニュアルに添った対策の実施 食後の口腔ケアの実施:勉強会を開催し、ブラッシング・口腔ケア指導の実施 インフルエンザ予防接種・コロナ予防接種:同意者施行(ほぼ全員に実施) 手指消毒の実施:食前のアルコール消毒実施。衛生的な手洗いの指導・実施 施設内勉強会開催(2回/年) 職員研修:院内感染対策研修会の参加・伝達講習 新型コロナウイルス感染症に対する感染対策の実施。職員へ周知教育実施。	感染症マニュアル見直し ~ 継続のマニュアル整備と実技訓練実施						
感染対応	・COVID19発生に伴いゾーニング対応実施(老健BCPに沿って実施) ・保健所との連携・指導・報告対応 ・職員感染者自宅待機による人員不足調整 ・職員、利用者の新型コロナ抗原キット検査実施	計画書の作成						

NCMの状況(栄養ケア・マネジメント Nutrition Care Management)

	実施状況	次年度予定
実施方法	対象者:血液検査・体重により、栄養サポート対象者を選出 月1回 医師・看護職員・介護職員・相談員・OT・事務長・栄養士参加による会議開催 栄養状態・体重の減少状況によりサポート内容を検討 補食提供 対象者は2ヵ月後との血液検査と体重測定の実施・喫食状況の確認 アセスメント・ケアプランの作成・モニタリング・栄養マネジメント加算算定 高リスク者に対する改善への取り組み実施	栄養改善への取り組みマニュアル作成

令和4年度 事業報告(リスクの状況)・身体拘束廃止委員会報告

1、保険者へ報告した事故について 件数 2件(転倒)

2、施設内報告の事故等について
(事故報告書、ヒヤリハット、ニアミス報告書)

件数	施設内報告書	計 428件
	ニアミス報告書:25件、ヒヤリハット報告書:370件、事故報告書:33件 (R3年度 ニアミス報告書:62件、ヒヤリハット報告書:354件、事故報告書:47件) (R2年度 ニアミス報告書:66件、ヒヤリハット報告書:321件、事故報告書:41件) (R1年度 ニアミス報告書:45件、ヒヤリハット報告書:284件、事故報告書:53件)	
内容	<p>勉強会にて各報告書の定義、記入方法を口頭にて説明する 各報告書を提出してもらうよう職員への啓発を行う ニアミス報告書、ヒヤリハット報告書、事故報告書のデータ管理(原因分析を行い事故防止に努める) 各職員が事例を把握出来るよう休憩室にて報告書の掲示を行う 2ヶ月に1回のリスクマネジメント会議にて個人別対応検討、データ内容の開示を行う カンファレンス、詰所会議の際に個人別対応方法を示すことで職員への周知徹底を図る 転倒アセスメントシート記入各職員に指示を出し転倒レベルの集計を行う 転倒アセスメントシートにて注意者の検討(3か月に1回の見直しを行う) 離床センサー対応者シートの作成により離床センサー対応者の決定(転倒アセスメントシートレベルの中からセンサー対応者を検討する)また状態に変化が生じた際のセンサー使用の検討 転倒アセスメントシートの改定(平成28年度第10版改定)、定期的に見直しを行う 施設内、外での勉強会の実施 勉強会にて事例検討会の実施を行う 離床センサーアセスメントシートを活用し離床センサー使用者の優先順位の決定と離脱の決定</p>	
発見方法・原因分析 次年度に向けて	<p>・行動障害からの危険行動が多く、特定の入所者から多く報告書が上がり総数も多く上がった。離床センサーを使用し早めのコール対応を行っていたが、他者とコールが重なるとすぐに対応できないこともあり対応が遅れ転倒につながることもあった。 ・歩行時下肢筋力の低下、ふらつきから転倒されることがあった。 ・アセスメントシートを使用しセンサー使用の優先順位、離脱の検討を継続して行っていく必要がある。また対応の優先順位も点数にて客観的に判断する必要がある。 ・入所時に転倒の危険、起こるものだということを説明し家人の転倒への理解を深めることも継続して行う必要がある。 ・介護技術、理解、危険意識は個人で差があり勉強会を定期的に行い統一した介助を行う必要がある。 ・介助時焦りからか確認が出来ない職員もいる為都度周知、個人指導を行う必要がある。 ・コロナ感染者クラスターが発生し居室隔離対応となった際、隔離された事による不穏から行動障害がみられ転倒、座り込み等がみられた。また居室隔離解除後もADLの低下から転倒、座り込みが発生していた。</p>	

身体拘束の状況

緊急やむを得ない場合を含め、行なっていない。
身体拘束状況の確認
研修参加および施設内研修の実施

令和4年度 事業報告(行事・レクリエーション・食事)

年間行事・レクリエーション企画について

昨年度同様、コロナ禍において集団で密になるような活動・外部との交流は中止となった。

	企画	内容	主催委員会
4月	お花見会(室内)お茶会	桜が満開の頃午後のレクリエーションの時間に実施	食事委員会
6月	ラーメン会	普段施設入所中に食べる事のないカップラーメンをリクエストにより食する	レク委員会
7月	七夕会	笹で笹舟を作って七夕の歌を歌った	レク委員会 食事委員会
9月	敬老食事会	敬老の日にお祝いの食事会をする	行事委員会
11月	秋の行楽会 ラーメン会	ススキを見ながら歌を歌い秋の和菓子を食した	レク委員会 食事委員会
12月	クリスマス会	入所部門で新型コロナクラスター発生し中止	
1月	おいしいもの会	煮しめやお饅頭などで季節感が感じられるおやつを食した	レク委員会 食事委員会
2月	節分会	午後のレクリエーションの時間に実施	レク委員会 食事委員会
3月	ひな祭り会	和菓子を提供 午後のレクリエーションの時間に実施	レク委員会
毎月	誕生会	ケーキやお菓子等でお祝い	レク委員会

- ・新型コロナ感染対策として昨年度に引き続き集団での活動の自粛、大声を出すなどの活動の中止、外部との交流の中止を行った。
- ・それに伴い利用者様のストレスとならないよう、食事委員会と共同し食べる楽しみを中心に実施した。
- ・家人との面会はコロナ感染が減少したR3夏からR3.12月にかけて直接面会を可能とし、12月末からはオンラインのみとした。また、携帯電話を持っている利用者様にはラインなどを活用しオンラインでの通話ができるよう援助を行った。
- ・壁紙をこまめに替え季節感が感じられる配慮を行った。
- ・家人へは「たき通信」(施設広報誌)や壁紙(洗濯物交換者用)を通して、写真を見ていただいた。
- ・外部との交流ができないが、外の状況がわかるようネットや画像を通して感じられるような活動を行った。
- ・全体的に利用者様からの高評価をいただき、いい取り組みができたと思う。

その他の活動内容について

- ・今月のレクの企画(季節感を感じられる物を取り入れたレク)
- ・月の担当、壁面のデザインの決定(4月～3月) ・月の活動内容の貼り出し
- ・壁面について、OTの個別リハビリなどを利用して作成
- ・令和4年度から生け花クラブ(職員対応)の再開(コロナ予防のため中止していた)
- ・厨房主催の喫茶店(ひだまり)4カ月に1回実施

行事委員会 今後の予定と改善点について

- ・屋外行事の代わりに屋外への散歩などの検討
- ・地域ボランティアとの交流実施への検討・クラブ活動の検討
- ・多伎の郷夏祭り中止につき、それに代わる行事やレクリエーションを検討する。

レク委員会活動内容

今後の予定と改善点について

- ・食事係とも合同行事を実施。合同行事は好評だったため、来年度も計画する。
- ・季節感を感じることができ、利用者様も一緒に楽しめる企画を検討する。

令和4年度 事業報告(接遇・教育委員会・ケアプラン)

勉強会(職員研修会)内容について

	月	内容	講師
年間勉強会 (施設内研修)	4月	施設理念・運営方針・個人情報保護について 高齢者虐待・身体拘束	竹下事務長 安井看護主任
	5月	リスクマネジメント 認知症	原介護主任 三原看護長
	6月	感染予防(1回目)(実技)	渡邊看護職員
	7月	介護技術	原介護主任
	8月	接遇	平岡リハビリ主任
	9月	口腔ケア(食事) リスクマネジメント	オンライン 原和行GL
	10月	リハビリテーション 高齢者虐待・身体拘束	森山理学療法士 帯刀介護士
	11月	感染予防(2回目)	森山恵介護士
	12月	レクリエーション	杉原作業療法士
	1月	褥瘡予防	内田看護師
	2月	緊急時・急変時対応	三原看護長
	3月	ケアプラン ターミナルケア	三原看護長

今年度の反省・改善点
 ・外部研修はオンライン研修を用いて実施。今後も積極的に研修に参加できるよう調整していく。
 また、職員より興味関心のある議題を徴収しながら勉強会の課題を工夫していく。
 ・また、COVID19感染対策のための実践研修は繰り返し実施していく。勉強会の内容は概要から実践内容にシフトしながら実際のケアにつなげていく。

接遇について
 ・施設内勉強会にて職員教育を施行した。

ケアプランについて
 ・ケアプラン作成マニュアルに沿って立案。3ヶ月に1回のモニタリングとケアカンファレンス開催。
 ・その他、状態変化時カンファレンス実施。入所時、退所時のカンファレンス開催。

ターミナル計画書について
 ・ターミナルケアマニュアルに沿ってムンテラ、意向確認、同意書作成後にプラン立案と定期的なカンファレンスの開催。

令和4年度 事業報告(栄養ケアマネジメント)

目的

低栄養状態のリスクがある特定利用者において栄養状態の維持改善を目的に栄養サポートする。

栄養ケアマネジメント手順

利用者に対し栄養状態のスクリーニング・アセスメントを行い栄養ケア計画を作成する。

栄養ケア計画に基づき実施・チェックを行いモニタリングする。

低栄養のリスクによってモニタリング期間が異なり、低リスク者は3ヶ月毎、中リスク者は1ヶ月毎、高リスク者は2週間毎にモニタリングし評価を行い、再スクリーニングしていく。

低栄養のリスク判断基準(BMI 17.0未満、血清アルブミン値3.4g/dl以下、食事摂取量の低下)

リスク分類	低リスク	中リスク	高リスク
BMI	18.5以上	18.5未満	
体重減少率	変化なし (減少3%未満)	1か月に3~5%未満 3か月に3~7.5%未満 6か月に3~10%未満	1か月に5%以上 3か月に7.5%以上 6か月に10%以上
血清アルブミン値	3.5g/dl 以上	3.0~3.4g/dl	3.0g/dl 未満
食事摂取量	76~100%	75%以下	
栄養補給法		経腸栄養法・静脈栄養法	
褥瘡の有無			褥瘡

リスク別人数

	低リスク	中リスク	高リスク		低リスク	中リスク	高リスク
4月	16	24	4	10月	22	20	2
5月	18	20	5	11月	26	18	4
6月	24	18	6	12月	23	16	4
7月	20	24	5	1月	26	16	4
8月	21	25	3	2月	25	18	6
9月	17	24	3	3月	24	20	6

低栄養状態の時の栄養補助食品(1人が複数付加することもある)

たんぱくゼリーセブン...蛋白質強化

メイプロテイン...蛋白質強化

アイソカル...エネルギー強化

エブディッシュ豆腐...エネルギー・蛋白質強化

エネプロゼリー...エネルギー・蛋白質強化

その他(きな粉・食事量の調整)...蛋白質強化

会議

栄養ケアマネジメント会議の実施(定期的な血液検査の結果により低栄養の利用者をリストアップし、どのようにサポートしていくか検討していく会議)

開催日	内容	実施者							
4月18日	・体重増減、BMI、食事量の確認、状況報告・定期血液検査の実施、結果検討・新規利用者のアセスメント	5人	4人	0人	0人	0人	1人	0人	
5月16日	・体重増減、BMI、食事量の確認、状況報告・定期血液検査の実施、結果検討・新規利用者のアセスメント	6人	5人	0人	0人	0人	1人	0人	
6月20日	・体重増減、BMI、食事量の確認、状況報告・定期血液検査の実施、結果検討・新規利用者のアセスメント	7人	6人	0人	0人	0人	1人	0人	
7月19日	・体重増減、BMI、食事量の確認、状況報告・定期血液検査の実施、結果検討・新規利用者のアセスメント	7人	6人	0人	0人	0人	1人	0人	
8月15日	・体重増減、BMI、食事量の確認、状況報告・定期血液検査の実施、結果検討・新規利用者のアセスメント	7人	6人	0人	0人	0人	1人	0人	
9月20日	・体重増減、BMI、食事量の確認、状況報告・定期血液検査の実施、結果検討・新規利用者のアセスメント	7人	6人	0人	0人	0人	1人	0人	
10月17日	・体重増減、BMI、食事量の確認、状況報告・定期血液検査の実施、結果検討・新規利用者のアセスメント	7人	6人	0人	0人	0人	1人	0人	
11月21日	・体重増減、BMI、食事量の確認、状況報告・定期血液検査の実施、結果検討・新規利用者のアセスメント	5人	3人	0人	0人	1人	1人	0人	
12月21日	・体重増減、BMI、食事量の確認、状況報告・定期血液検査の実施、結果検討・新規利用者のアセスメント	5人	3人	0人	0人	1人	1人	0人	
1月16日	・体重増減、BMI、食事量の確認、状況報告・定期血液検査の実施、結果検討・新規利用者のアセスメント	7人	6人	0人	0人	0人	1人	0人	
2月20日	・体重増減、BMI、食事量の確認、状況報告・定期血液検査の実施、結果検討・新規利用者のアセスメント	8人	4人	0人	0人	2人	2人	0人	
3月22日	・体重増減、BMI、食事量の確認、状況報告・定期血液検査の実施、結果検討・新規利用者のアセスメント	9人	5人	0人	0人	2人	2人	0人	

令和4年度 事業報告(調理)

食事状況(一日平均)

